

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9・26	家族様の要望・不安を把握しきれていない	「家族」の枠組みをもっと個別化にし、ピンポイントの思い・要望を改善できる施設にする	来所時の聞き取りだけでなく、ケアや環境整備に対するアセスメント表をケアプラン更新毎に家族様に郵送し、より詳細で具体的な想いを確認する。	12ヶ月
2	4・20	地域交流を継続して行う	地域の方の理解を深める。	ふれあい喫茶(2ヶ月に一度) 秋祭り(年1回) 地域ボランティア受け入れ 地域ミニデイサービスへの親睦訪問 地域催しへの参加を計画的に継続して行う。	12ヶ月
3	33	重度化に対応する介護技術を向上する事が課題である	介護実技・対応を実践の中で学ぶ機会が継続でき、ケアの範囲にて安心できる環境を提供できる	自施設での実技研修を実施。他施設実習等現場での実践研修の場を取り入れる。	12ヶ月
4	33	安心して終末期を迎える環境が整っていない	(短期)終末期迎える環境作りをスタッフ全員が意識できる。	(短期)医療・家族・施設の連携がスムーズに図れる環境作りを運営推進会議を通じて話し合える機会を作る。	12ヶ月
5	33		(長期)終末期を安心して迎えられる環境ができる。	社会資源の確保(終末期に関しては特に医療支援の充実が課題と考えられる為、それらを補える環境づくりを目標達成の為の長期取り組みとする。	36ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。